



発行所 野郡大野町
福井県民館
和泉村
印刷所 松浦印刷所

第27回定例村議会開かれる

三月二十三日より六日間の会期を以て村議会が開かれ、三十七年度の最終の追加更正予算、三十八年度当初予算並びに三十六年度決算承認等二十二議案が決議されました。

一億六千六百余万円

三十八年度和泉村歳入歳出予算

順調に各種災害の復旧が行われ本年度は最終の年でありまして前年度当初予算に比し相当小規模な予算ではありますが、歳入歳出の総額は一億六千六百四拾八万四千円に及ぶと見込まれております。各節別の金額は別表のとおりであります。

◎昭和三十三年度各種特別会計歳入歳出予算左のとおり
一、電源開発対策協議会予算二百拾五万円
二、簡易水道予算三拾二万二千四百一拾五万円
三、農業共済歳入歳出予算一、五拾二万四千四百円
四、国民健康保険歳入歳出予算七百七拾七万七千一百一拾二拾四円
五、国民健康保険上六馬診療所歳入歳出予算五百拾八万九千三百三拾四円
六、全下六馬診療所歳入歳出予算二百四万二千二百円
◎村債の借入および償還方法について
一、地債、簡易債、教育債、特別債の四種が夫々決議されました。

移住雑話

嫁に行くなら貰い手のあるうちに

ここに穴馬の田舎娘を嫁に欲しいと言ってきた。あまり器量が良いが、嫁入り話のあるうちに度胸をきめ、嫁に行かぬば、時機を失つてしまふおそれがある。よりどり、みどりもよいが、そのうちによい処へ嫁に行けずオールドミスになつてしまふ。第二の穴馬村づくり、また一しよに寄つて、穴馬言葉で世間話に花を咲かせる、たのしい配がある。

収入の部		支出の部	
款	金額	款	金額
①村	19,499,000	①議	2,399,300
②地	29,000,000	②役	19,393,500
③公	34,000	③消	3,017,200
④分	420,000	④土	49,595,000
⑤使	175,000	⑤教	22,626,000
⑥国	44,191,300	⑥社	2,390,000
⑦県	51,584,000	⑦保	636,000
⑧寄	5,170,700	⑧産	61,590,300
⑨繰	500,000	⑨財	644,000
⑩雑	110,000	⑩統	41,000
⑪対	15,800,000	⑪選	244,000
合	166,484,000	⑫公	11,995,600
		⑬諸	3,569,300
		⑭予	408,000
		備	
		計	166,484,000



(写真は受授式)

公民館強調目標

火災予防
一、火事は人災です
二、一軒の油断が皆んなの災難
三、春の火災は目に見えぬ早さ
四、山火事も各所に起つて
五、毎日毎時気をつけよう
瞬間の油断が大火のもと

農業講座

苗作りの要点

この雪の消えるのは平年より相違なく、苗代予定日の消雪促進のため黒土を敷いて、耕起、整地、播種を早くする。
○播種期
つとめて平年より五日以上遅れないよう、作業の準備を整えて下す。あまり播種時期が遅くなると、稲の基本栄養生長期が短くなり、このことについては全部改正であるため、従つて長文になりますので紙面の都合もあり省略します。
○三十七年度追加更正予算
正予算は六百七拾五万でありまして、既決額と合計致しますと実にその総額約三億に達します。

大都市周辺の事情

水田で米が六俵以上取れるというので、そんな気候のよい肥沃の土地がどうしてそんなに安いのか聞いたら(一)現金収入のある仕事がいくらでもあるから、百姓は馬鹿らしくてやっておれない。老人、子供の遊び仕事位しか考えていない(二)大工場、住宅団地が誘致出来る可能性が多分にある。そうした土地代が高くなるから無理して農業しなくとも、荒しておいたところで差支えない。と、いうことだ。

高志地区初の知事表彰旗

今年自治消防防足以来十五周年を記念して去る三月二十七日、福井県庁で全県下消防関係者参加の記念式典を行いこの席上、かねて消防団活動に精進して来た和泉村消防団はその功績を認められ、県下第三回高志地区初の知事表彰及び消防協会長(熊谷太三郎)表彰として表彰旗を受授された。

第八回奥越スキー大会

第八回奥越スキー大会は三月二日、鷲が鞍スキー場で開かれた。入賞者次の通り(三位まで)
(成年距離)一位尾藤清左門、二位川口慶次、(少年距離)一位末永典好、二位竹花登、三位福郷元栄(成年滑降)一位林一美、二位持田寿幸、三位山岸龍雄、(少年滑降)一位中森正国、二位東義治、(壮年滑降)一位西喜代美、二位中森三三、三位谷美好(中学滑降)一位見島治、二位谷口武夫、三位黒古昇(成年回転)一位田中勝見、二位中山武雄、三位山形龍雄

文部省指定 婦人学級終る

三月十日、日進小学校で閉講式。山本公民館長ほか村内講師、関係団体長等臨席、式後全員反省会を行なった。
記録係 石神寿恵子さんの感想
婦人学級の目的は、よき家庭人よき社会人、よき生産人となるために学習するものでありまして、いつもよいお話を聞きましては、感想や意見を語り合い、目に見えぬ大きな収穫のあつた事をよろこびました。
(写真は学級出席者)

各種団体たより

二月二十四日 朝日地区冬季区民運動会
二月二十八日三月一日 東部中学校県立高等学校入試 参加十七名
三月二日三月七日 日進小学校両親学級
三月二日 上地区農協理事会 事業計画について
三月二、八日 朝日小学校学習参観
三月三日 朝日分館閉書大会
三月四日 大納校新入学児童父兄会
三月六日 朝日小学校学習参観

人と金と移住

価値は違う。買物しても或人は「高い」といい、或人は「安い」といい。金額が少なければ「安い」といふ。金額が多ければ「高い」といふ。自分にとって将来性のある高価なものを、割安に買つてこそ「安い」のである。祖先伝来の土地や家を売つて得る補償金である。たとえ金額は多くても、将来性のある土地とか或は投資とかに使つたのなら、絶対に十倍や百倍になる。人には運、不運があるが現在一ばんよいと信ずる嫁入先を求めよう。

農業者の要約

この雪の消えるのは平年より相違なく、苗代予定日の消雪促進のため黒土を敷いて、耕起、整地、播種を早くする。
○播種期
つとめて平年より五日以上遅れないよう、作業の準備を整えて下す。あまり播種時期が遅くなると、稲の基本栄養生長期が短くなり、このことについては全部改正であるため、従つて長文になりますので紙面の都合もあり省略します。
○三十七年度追加更正予算
正予算は六百七拾五万でありまして、既決額と合計致しますと実にその総額約三億に達します。

文部省指定 婦人学級終る

三月十日、日進小学校で閉講式。山本公民館長ほか村内講師、関係団体長等臨席、式後全員反省会を行なった。
記録係 石神寿恵子さんの感想
婦人学級の目的は、よき家庭人よき社会人、よき生産人となるために学習するものでありまして、いつもよいお話を聞きましては、感想や意見を語り合い、目に見えぬ大きな収穫のあつた事をよろこびました。
(写真は学級出席者)

第八回奥越スキー大会

第八回奥越スキー大会は三月二日、鷲が鞍スキー場で開かれた。入賞者次の通り(三位まで)
(成年距離)一位尾藤清左門、二位川口慶次、(少年距離)一位末永典好、二位竹花登、三位福郷元栄(成年滑降)一位林一美、二位持田寿幸、三位山岸龍雄、(少年滑降)一位中森正国、二位東義治、(壮年滑降)一位西喜代美、二位中森三三、三位谷美好(中学滑降)一位見島治、二位谷口武夫、三位黒古昇(成年回転)一位田中勝見、二位中山武雄、三位山形龍雄

高志地区初の知事表彰旗

今年自治消防防足以来十五周年を記念して去る三月二十七日、福井県庁で全県下消防関係者参加の記念式典を行いこの席上、かねて消防団活動に精進して来た和泉村消防団はその功績を認められ、県下第三回高志地区初の知事表彰及び消防協会長(熊谷太三郎)表彰として表彰旗を受授された。

大都市周辺の事情

水田で米が六俵以上取れるというので、そんな気候のよい肥沃の土地がどうしてそんなに安いのか聞いたら(一)現金収入のある仕事がいくらでもあるから、百姓は馬鹿らしくてやっておれない。老人、子供の遊び仕事位しか考えていない(二)大工場、住宅団地が誘致出来る可能性が多分にある。そうした土地代が高くなるから無理して農業しなくとも、荒しておいたところで差支えない。と、いうことだ。

農業者の要約

この雪の消えるのは平年より相違なく、苗代予定日の消雪促進のため黒土を敷いて、耕起、整地、播種を早くする。
○播種期
つとめて平年より五日以上遅れないよう、作業の準備を整えて下す。あまり播種時期が遅くなると、稲の基本栄養生長期が短くなり、このことについては全部改正であるため、従つて長文になりますので紙面の都合もあり省略します。
○三十七年度追加更正予算
正予算は六百七拾五万でありまして、既決額と合計致しますと実にその総額約三億に達します。



(写真は学級出席者)

ヘリコプター 自衛隊機が食品を空輸

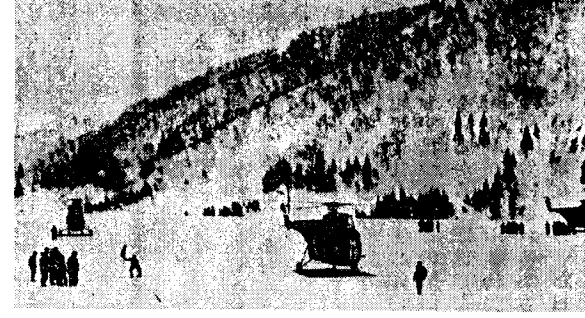
百年來の豪雪は本村にも、アワナダレ等の直接被害の外、私達の生活面にも予想外の被害を与えた。その中で最も深刻に考えさせられた事は副食品の欠乏であつたと思ふ。

特に中蔵山に於ては約一、五〇〇の人口を抱えて、干物、罐詰類まで底をつき、遂に県を通じて自衛隊のヘリコプターによる副食品類の空輸を要請した。

その第一回は二月二十五日悪天候を侵して土浦第一ヘリコプター隊第一飛行隊秋沢三佐外十一名で三機編成で延べ十七機、三・七トンの空輸を決定された。

その第二回は三月十四日、まれに見る好天気に恵まれ、小松航空自衛隊隊員三佐外十二名(通信隊六名を含む)で一機で延べ七機、一・五トンの空輸を敢行した。

過ぐる昭和三十四年九月、尊い二十七名もの犠牲者まで出した伊勢湾台風の時も、百余名の自衛隊員の救援により、今も尚残る自衛隊坂(自衛隊員が応急処置として)



三島生久子(保護)

作つてくれた仮設道路、誰云うともなく、と共に、私達の胸に深く印象づけられました。

自衛隊の皆さん、ほんとうに有難うございました。

(写真上は副食品空輸中の自衛隊ヘリコプター。下は三機同時着陸の瞬間)

おめでとう入学一年生

今年小学校へ入学する児童は次のとおりです。入学される皆様を祝福し、明るく健やかに学園生活を過ごすよう望みます。

(カッコ内は保護者名)

△日進小学校
○東市布
田中賢二(栄一) 田中信章(一)



国道に突き出した大テグレ 国道福井〜松本線長野側地籍

○上半原
小松保雄(としゑ) 長谷川雄治(伊佐美) 長谷川憲成(孝正) 志摩八洲治(三郎)

○下半原
中山敦子(昭二) 木島和泉(高栄) 森田賀津枝(四郎) 林三津子(弘) 林夕喜子(高二) 石神金治(金弥) 横山初子(義男)

○池方島
勢柄巧(駒吉) 山下京子(正男) 畑中勝彦(ち勢子) 野村節子(孝二)

○箱ヶ瀬
原田修二(文子) 永瀬賢恵子(治) 美濃島富貴子(仁松)

○荷暮
美濃島ひのみ(孫兵衛) 三島つむぐ(重馬) 三島久枝(下山彪) 三島かをる(与一郎)

○持穴
美濃島周作(登) 水口

テレビのコーナー。日韓交渉の正常化、もとより結構なことであるが、何年たつても進展しないのはどこかに無理があるのではないかと。戦争は勝者も敗者も昔のようには得がいかない。いい加減に欲ばりを言わないで仲なかりをすべきであらう。将介石は「うらみに報ずるに徳を以てす」と引揚げて日本人に発表した言葉はさすがに一国の首領として恥かしくない立派なものである。韓国の金部長も最近これに似た立派な言葉を発表した。いつまでも韓国に丸一日費しているのはたまらな

俊彦(重雄)
○大谷
美濃島弘子(静) 阿部正頼(久雄) 若山峰子(樹) 若山登代子(茂樹) 木下秀子(秀雄) 野口信美(百合子) 古川真弓(君子) 西田博俊(重喜) 小沢伸幸(英郎) 池田いづみ(隆夫) 小沢英子(繁松)

○影路
奥俊彦(杉山幸子) 尾崎士朗(久也) 宮沢敬治(由夫) 佐藤蓉子(武雄) 栃木金次(信次郎) 米俵

○米俵
池尾義治(英作) 池尾栄治(重雄) 見島弘子(正雄) 池尾幸子(五市) 池尾勝義(由太郎) 林賢二(一之)

○伊勢
五島富治(義二) 中村広(明) 田島春代(守夫) 中山よし子(弘成) 鎌倉みよ子(光雄) 高橋治和(勝見) 若山敦子(実)

○久沢
尾崎啓一郎(良造) 高瀬真由美(武夫) 野村英子(光治) 高瀬八郎(稔) 野村和也(又市) 高瀬あき子(留雄)

○鷲
津田由喜子(弘) 鷲塚啓子(均)

○川合
桜川真由美(義夫) 道岸正一(政治)

○貝皿
村上一郎(良夫)

○朝日
岡田己代子(オマツ) 西屋茂幸(茂広) 洞口由紀江(賢明) 井南陽子(政雄) 吉川欣哉(秀夫) 板倉

○板倉
上田真優美(すみゑ) 林富士子(勲) 谷口久和(久男) 坪幸男(光雄)

○後野
奥守良一(剛) 三島多賀子(利夫) 三島深雪(邦敏)

○朝日前坂
奥守紀子(俊一)

○角野前坂
奥村仁美(健二) 三橋弘幸(忠一)

○下山
村上直(一得) 吉美智代(利栄) 島崎久雄(喜市) 宇野博子(一雄) 東和男(定治) 下東恵子(美善)

○上大納
谷口喜美代(秀雄) 中島竜男(友江) 三坂昭二(保司) 下島新治(善作) 番屋清則(喜代志) 谷口亮一(新作) 永井順子(良雄) 吉沢志津子(毅)

○中蔵
田中優子(国喜) 山内正弘(直正) 前田露子(昭吉郎) 福田和則(清) 尾崎洋子(日出雄) 久保八重子(重行) 広畑幸一(一) 佐々木光昭(昭夫) 藤井久美子(亮) 河口勇規(武)

○新井直子(栄一) 福島多恵(清澄) 菊地克之(義雄) 福島多恵(春治) 山内広人(忠作) 福田裕之(忠男) 宮本浩一(稔) 加藤昭彦(政枝) 牧野和代(惣左エ門) 前田政美(正)

○下大納
山内宗一(登子雄) 松田久美子(衛)

希望に胸ふくらませ学窓を巣つた村内中学卒業生一四五名は、今夫々どんな方向に向つて行つるか、未来の当村を指向する手がかりとしてその概況をまとめて見よう

東部 朝日 大納
家業継承 一一一〇
就職 二六 三二〇
高校進学 三三 一九二
其他進学 一一一
即ち、家事継承者一四〇、就職者三四〇、進学者五二〇で卒業生の過半数が進学しているわけである。

△退職(教員)
石神幸太郎 日進小学校長
太田藤九郎 大和小教諭
古道 千代 朝日小講師

△転任(教員)
江川 慎一 日進小→和田小
藤田美樹男 吉田とし子 日進小→池田二小
新郷 一郎 大和小→大石小
前川 敏隆 朝日小→城崎小
竹原 利栄 朝日小→森田小
大竹 光雪 朝日小→石川小
前川 文代 大納小→泉立雙
野崎 慶子 東部中→岐阜県
長谷川孝生 東部中→志比中
鈴木誠一郎 志比中→静岡県
淵上 節子 朝日中→国見小
林 ひろ子 朝日中→三國中
前川 邦夫 大納中→池田一中
内田 邦司 池田一中

△新任(教員)
徳本 康吉 日進小学校長
清水三喜夫 日進小
森永 輝子 大和小
寺本 俊夫 大和小
佐々木孝子 大和小
石田政美子 大和小
河合 邦子 大和小
佐藤 哲三 朝日小
川端 軍治 朝日小
中川 好子 朝日小
田中 末子 朝日小
峯金弥士郎 大納小
田代 雅子 大納小
伊藤 和栄 東部中

十年選手

PTA役員 長谷川正一氏 (54)



昭和二十二年アッリ長谷川正一氏は日進校PTAの発足と同時に選ばれ、今日まで十数年連続している。其の間幾度も副会長を勤め今尚其の職にある。本校制度が根本的に改正された。これに因りて敗戦の落し子として生れたのが、学校の「足」を運び、教師をばげまし、時に日本国の津々浦々の学校にこれが出来、その功罪は別として学校教

は李ラインを主張するのはどうかと思ふ」と、残念乍ら国内の政局不安定の為、せつかく円満な交渉のきざしも当分流れにはなつたが、しかしそうした自国の反省の態度は、日本国民に好感を与えずにはおかない。お互に我をばげず、すなかり外交を回復すべきである。テレビを見てみると、ちよつと歌つただけで、ハイ賞金一百万円それからこれは……といった具合に如何に宣伝と言え、国民が馬鹿にされているのである。小さい子供に大金を平気で手渡しているの

はどうかと思ふ。月末テストで受賞する子供も、せいぜいノート一冊である。こうした世の中、近頃の子供はノートを買つても昔の子供程喜ばない。貨幣の価値低下の責任の一端は、このノーマン・ヤルの賞金によるとは言えないが、無責任時代の歌、ツイストはアブノーマル(異常)である。これを喜んで見ているのは唯国民だけだろうか。世の為政者、希くばこうした情落した風習を季節風と共に追放されんことを切に祈つてやま

中へ去る二カ月を振り返つて見ると、巨額の金と幾多の努力を費してこれに対処して来たむなしさがやりに切れない様な感じである。又所に依つては多数の人命が喪われた。新聞その他も豪雪で約一カ月は紙面を費やしている様である。一時は豪雪対策の不満を為政者の責任の様に、白い目をもつて見た人もあつた様である。今度の様な大雪の場合、誰れがその責にあるかと、どうにもならない状態のことであつたではあるまいか。例年大雪の中に暮らす山の人達と、余り雪の状況を知らない平坦部の人達では、見方、考え方も異なると思はれるが、山に住む人は毎年その苦しみがあつたことを知つてはしいと思つと共に、雪の北陸に暮らす者として、たまの大雪と見くらべて驚き慌てることの無い様な心構えと準備がほしいものであり、尚雪に依る被害のくり返しは防ぎたいものである。

かじか
何十年來の豪雪と騒がれた大雪も、春の訪れと共に夢の様に消え去つて自然の息吹にほつ／＼柳の芽生えを見られる時期に成つて来た。自然の悪戯といふか、春の訪れの間に去る二カ月を振り返つて見ると、巨額の金と幾多の努力を費してこれに対処して来たむなしさがやりに切れない様な感じである。又所に依つては多数の人命が喪われた。新聞その他も豪雪で約一カ月は紙面を費やしている様である。一時は豪雪対策の不満を為政者の責任の様に、白い目をもつて見た人もあつた様である。今度の様な大雪の場合、誰れがその責にあるかと、どうにもならない状態のことであつたではあるまいか。例年大雪の中に暮らす山の人達と、余り雪の状況を知らない平坦部の人達では、見方、考え方も異なると思はれるが、山に住む人は毎年その苦しみがあつたことを知つてはしいと思つと共に、雪の北陸に暮らす者として、たまの大雪と見くらべて驚き慌てることの無い様な心構えと準備がほしいものであり、尚雪に依る被害のくり返しは防ぎたいものである。

今冬冬の豪雪に自分には通学する子供がないのに、上半原児童の通学安全を計つて、児童の出迎えに來られ、又なだれ危険箇所の除雪に会員ではまじり作られたなどその一例である。学校教育が好きなのか、或は仕事熱心なのかは本人に聞いてみなければわからない。尚上半原支部長(区長)として十数年來勤められ自治功労者として県知事表彰を受けられたことも附言したい。

△出生
長野 古世あけみ 謹治長女
箱ヶ瀬 三島由貴子 文雄長女
角野 木屋 康子 善子
野尻 宮山 郁子 和雄式女
下半原 中山 栄 高雄長男
荷暮 三島 喜勝 龍馬長男
中蔵 鳥谷部君子 治三郎式女
中蔵 松浦 道代 武男長女
朝日 中森 寿一郎 七郎長男
朝日 山本 浩司 周一長男
久沢 高瀬 勝久 光義長男

△婚姻
長野 新井 定男
白鳥町向小駄良 佐藤くに枝
○伊勢 中山 昇
島根県邑智郡邑智町高原ハルミ
○下山 西 昌徳
名古屋市中種区 水野 幸子
○今立郡今立町 真柄 保
小谷堂 原 黎子
○上大納 番屋 文吉
名古屋市中川区 森 照代
松田 誠治
○大野市土布子 三嶋美代子
後野 相馬 仲吉

△新任(教員)
徳本 康吉 日進小学校長
清水三喜夫 日進小
森永 輝子 大和小
寺本 俊夫 大和小
佐々木孝子 大和小
石田政美子 大和小
河合 邦子 大和小
佐藤 哲三 朝日小
川端 軍治 朝日小
中川 好子 朝日小
田中 末子 朝日小
峯金弥士郎 大納小
田代 雅子 大納小
伊藤 和栄 東部中

従來その候補者の良し悪しを判断した投票もうたがわしい様な感じも見受けられた。有権者各々が与えられた自分々の権利を他人の力に左右されることなく、正しい良識ある判断によつて、うつくしいそして後の四年間に後悔のない選挙を行いたいものである。

